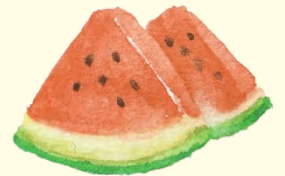


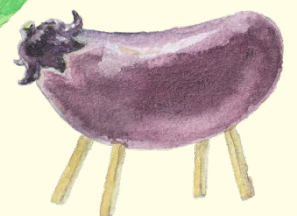
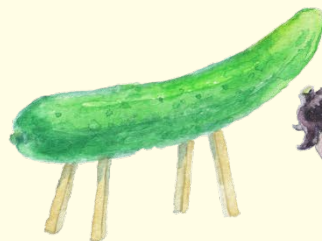


お盆

ガイドブック



皆さまの生活スタイルに合わせて
より良いお盆をお過ごしください

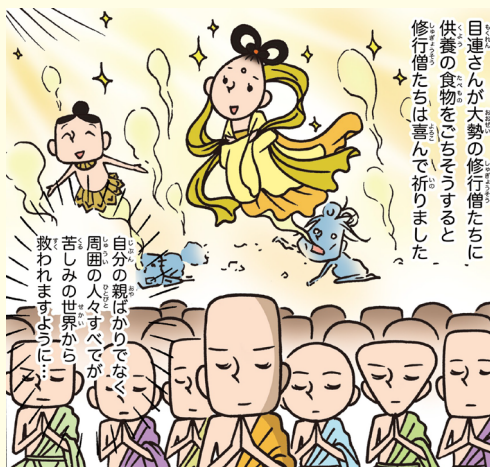
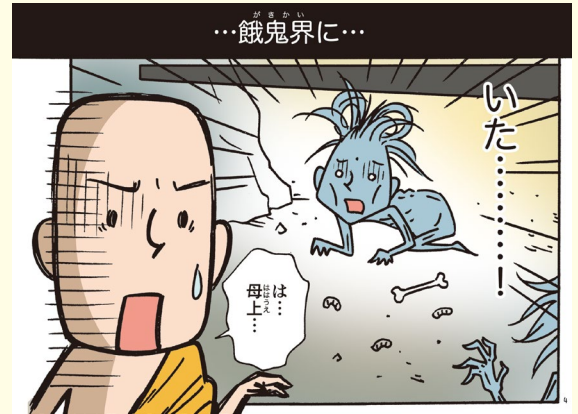




お盆の由来

お盆の由来は、お釈迦様の時代までさかのぼります。

ある日、お釈迦様の優秀な弟子である目連さんは、亡き母の行方を神通力で探すと、お母さまは物欲の罪により、飢えと渇きに苦しむ「餓鬼界（がきかい）」に落ちていました。変わり果てた母の姿に嘆いた目連さんは、食べ物を差し出しますが、口に運ぶと火に変わってしまい、助けることができません。



途方に暮れた目連さんがお釈迦様に相談すると、お釈迦様はこう諭しました。「お前の母の罪は深く、一人の力では救えない。夏の修行が終わる7月15日（新暦の8月15日）に、多くの修行僧を招いて食べ物を施しなさい。その功德によって母は救われるでしょう」と。目連さんは、お釈迦様の教え通りに施しをすると、母は無事に浄土世界へと成仏することができました。この喜びから人々が踊り出したのが「盆踊り」の始まりとされ、この伝承から、8月にご先祖さまを供養する「お盆」の習慣として定着したのです。

『おぼんのおはなし』のアニメ動画で、お盆の由来をわかりやすくご覧いただけます。QRコードよりご視聴ください。





お盆の大事な3つのポイント

- ① 卒塔婆を7月末までにお申し込みください。
- ② 8月16日の盂蘭盆法要（合同法要）、または8月9日～15日の個別法要にご参拝ください。
- ③ お墓参りの際には、お花・お線香をお供えし、ご先祖さまに手を合わせましょう



お申込は
お忘れなく！
そとうば
卒塔婆の申込

お盆では卒塔婆をお供えし

供養することを大切にしています

今の私たちがあるのは、亡き方やご先祖さまから受け継いだ命と恵みがあるからです。お盆は、そのことを思い出す大切な仏事です。

お墓参りの折に卒塔婆を供えることは、「お世話になりました、今も感謝しています、どうか安らかにお過ごしください」という、言葉にしきれない思いを形にして届けることです。また、その功德は亡き方だけでなく、建てた方にも功德が及ぶと日蓮聖人は教えられています。お花やお線香と同じように、卒塔婆は感謝と祈りを託す大切なお供えなのです。



卒塔婆のお申込は、同封の申込用紙
または右のQRコードから



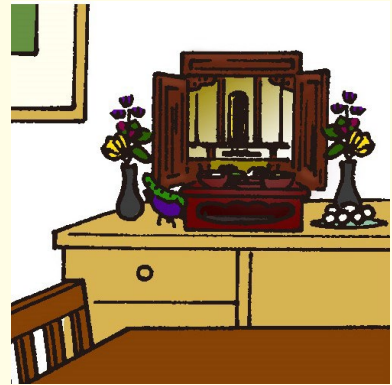
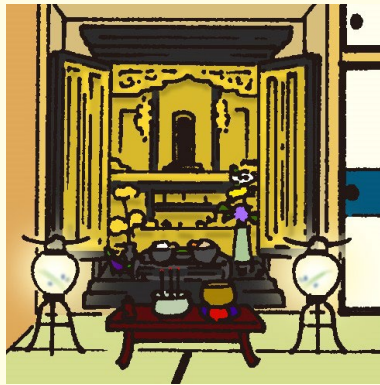
お申込の締切は
7月末日



お盆の準備 ~お盆のお飾り~

お盆期間は **8月13日 ~ 8月16日**

~お盆のお飾りや準備で大事なことは~
末永く続けるご先祖さまへの おもてなしの心



販売されているお盆用品などを上手に使いながら、故人が好物だったもの、故郷の食べ物など心のこもったものをお供えいただくのが良いでしょう。

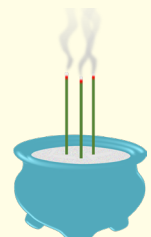


8/13 迎え火でご先祖をお迎え



8/16 送り火でご先祖をお見送り

ご自宅の事情により、迎え火・送り火を焚くことが難しい場合には、ご家族皆さまでお仏壇にお線香をお供えし、心静かに手を合わせ、ご先祖さまをお迎えし、お見送りいたしましょう。



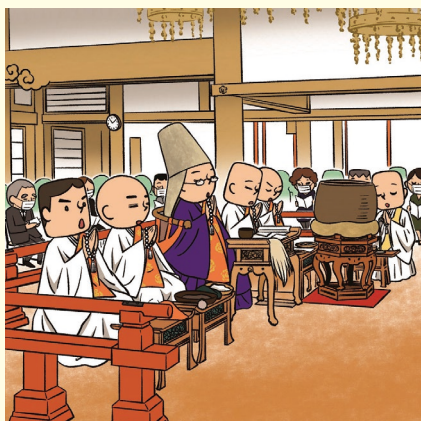
う ら ぼん ほう よう

盂蘭盆法要 ~合同法要~



8月16日(日) 午後2時より

多くの僧侶によってすべての精霊へ祈りを捧げます
ご家族おそろいで ご参拝ください



「盂蘭盆法要」は、お檀家さんのご先祖さまをはじめ、世界中のすべて精霊にお盆供養を捧げる、妙法寺が古くから受け継がれてきた、妙法寺の三大多行事のひとつです。当日は多くの僧侶によって、本堂いっぱい響く読経の中、皆様と共にご先祖さまをお迎えし、ご供養いたします。法要後には、住職による法話も予定しております。



コラム



7月のお盆と8月のお盆、どっちが正しいの？

お盆は「都会では7月」「地方では8月」と言われます。これは明治時代より暦が旧暦から新暦に変わったことに由来します。本来のお盆は7月です。江戸時代までは、現在の7月に行っていました。しかし明治時代となって、新しい暦が使われるようになります。【続きは次のページ】



こ べつ ほ う よ う 個別法要

8月 9日 (日) ~ 15日 (土)

午前 9時 ~ 午後 4時 30分 15日は午前中で
終了いたします

ご家族のご都合に合わせてお参りいただけるお盆法要です



16日のお盆法要に加え、上記の期間中には、個別でのご供養を承っております。お仕事の都合、ご家族の予定、小さなお子様連れ、ご高齢のご家族への配慮など、それぞれの事情に合わせて、安心してお参りいただける新しい供養のカタチです。僧侶が個別に、お盆のご供養をいたします。ぜひご家族お揃いでお参りください。

- お申込の卒塔婆にご供養いたします。
- ご自宅のお位牌をご持参ください。
- お経の時間は10分ほどです。
- ご予約は不要です。



縁日体験

個別法要期間中、お墓参りに来たお子さま向けに縁日体験を行っております。受付でお申し出ください。

当時8割が農家であった日本にとって、新暦の7月は田畑の仕事でとても忙しい時期にあたることから、月遅れの8月にお盆を行うようになったそうです。農家の少ない都心では従来通りの7月に、農家の多い地方では8月にお盆を行うようになったのが、お盆が7月と8月に行われる由縁のようです。妙法寺の周辺は今もなお農家の方が多いことから、8月にお盆を営んでおります。

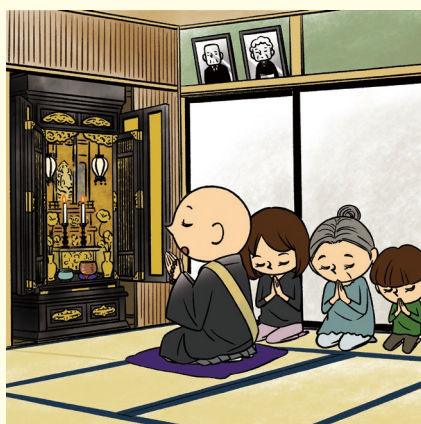


たな ぎょう
棚 経

～お盆のお経をご自宅にお届け～



7月10日 (金) ～19日 (日)

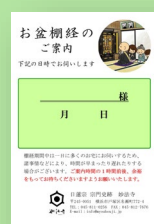


7月のお盆にあわせて、僧侶が各ご家庭のお仏壇にお盆のご供養をお届けいたします。`年に一度はお仏壇でお経をあげたい`とお考えの方や、ご高齢やご体調の事情などでお寺へお越しになるのが難しい方にも、安心してご供養いただけます。

7月

- 10日 (金) 鎌倉市・藤沢市・栄区・瀬谷区・泉区
- 11日 (土) ほおずき市のため不行
- 12日 (日) 金沢区・磯子区・中区・鶴見区・神奈川区・西区
- 13日 (月) 港北区・緑区・都筑区・港南区・南区・保土ヶ谷区
- 14日 (火) 旭区
- 15日 (水) 戸塚区
- 16日 (木) 下・上矢部方面
- 17日 (金) 中村講中・金房講中
- 18日 (土) 歌舞伎方面
- 19日 (日) 予備日

棚経にお伺いするお宅には日時をご案内する書面を同封しています。同封が無い方で棚経を希望される方は、お電話でお申込ください。

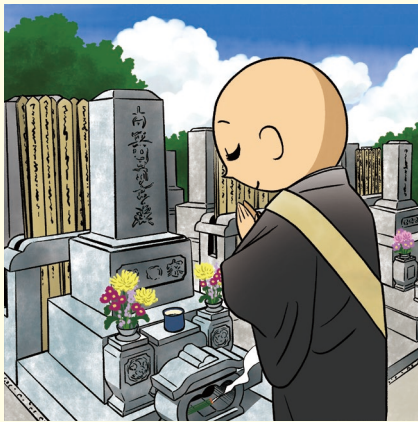


※毎年伺っているお宅には今年も予定通り伺います。

※新規でご希望の方は7月9日までにお電話でお申込みください。



お墓参り代行



“高齢で卒塔婆をお供えできない”
“仕事の都合で帰省できない” など

さまざまなお事情でお参りに来られない方や
卒塔婆を墓地に供えることが難しい方は、
卒塔婆申込用紙にその旨をお書きください。
お盆の法要が終わりましたら、お寺で卒塔婆
を墓地にお供えします。

- 後日、報告書を郵送いたします。
- 妙法寺に墓地がある方のみとなります。
- 卒塔婆料などは後日、郵便振込用紙を郵送します。

お墓参りのご案内



生花・お線香の販売

8月8日～16日

生花1対：1500円 / 2,500円（各線香付き）

お線香：100円



駐車場

お盆期間中は、墓地裏口（小学校側）を臨時駐車場として開放しております。

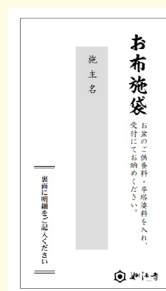
※小学校前は7:00～8:30までは、通学路のため通行禁止



お布施袋

お盆の「供養料・卒塔婆料」は「お布施袋」に入れて受付にてお納めください。

※表面：お名前 裏面：金額と内訳



古い卒塔婆

朽ちている古い卒塔婆は、お盆前に片付けさせていただきます。何卒、ご了承ください。

ご不明な点はお気軽にご相談ください

日蓮宗 宗門史跡 妙法寺

〒245-0051 横浜市戸塚区名瀬町772-4

電話：045-811-0256 FAX：045-812-7676

Mail：info@myouhouji.jp HP：myouhouji.jp